

根室市のあゆみ

根室の開拓は元禄年間に始まり、明治2年に開拓使松本判官が属僚130人を連れ来住し、根室市の基礎を築きました。

明治13年に郡役所と戸長役場が置かれ、更に同15年には北海道三県の一つとして根室県庁が設置され、根室の開拓が進みました。蟹、昆布、鮭などの北方領土近海の豊かな資源に恵まれ、水産業を中心に発展し、同33年には人口14,000人余りを数え、道東一の活況を見せました。

昭和20年の戦災によりマチの大半を焼失し、更に北方領土をソ連邦に不法占領されたため人口は減少し、産業、経済の復興も一時は危がまれましたが北洋漁業を中心とした水産業で立ち直り、我が国有数の水産都市として発

展してきました。

昭和32年、根室町と和田村が合併して根室市が誕生、更に同34年に歯舞村を編入、同42年には人口49,000人を超えましたが、同52年の経済専管水域200カイリ施行さらに平成4年からは公海での鮭・鱒沖取り禁止などにより、漁獲高が減少し厳しい状況に置かれています。

新しい海洋時代に対応するため、沿岸漁業資源の増養殖及び水産資源の高次加工などの振興策を積極的に行っています。また、北方領土返還要求運動の原点の地として、北方領土返還実現による日ソ両国の平和条約が、早期に締結されるよう全国民の先頭に立って返還運動を展開しています。

主要年報

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事
1635年	寛永12年	・松前藩、蝦夷島を探検。国後、択捉や北方の島々の地図ができる。	1901年	明治34年11月	・戸長役場歯舞村に移転し、歯舞村ほか5カ村戸長とする。(歯舞地区)
1644年	正保元年	・松前藩が自藩領地図を幕府に献上、その中に郷調(くるむせ)として39の島々が描かれている。	1906年	39年4月	・二級町村制が施行され、従来の村名を大字村名として和田村とする。同日、大字和田村の基本財産を兵村関係上、東和田西和田の特有部落財産制を設ける。(和田地区)
1754年	宝暦4年9月	・瑠瑠海峽の航路を開き、根室に運上屋を置く。	1908年	41年7月	・根室町役場庁舎新築落成。
1790年	寛政2年	・松前藩が国後場所を開き、択捉、得撫までの交易場所とする。	12月	・落石無線電信局送信所開設。	
1792年	4年9月5日	・穂香、幌茂尻の二部落に本番屋が置かれる。	1909年	42年	・歯舞局電信事務所開設。歯舞村に駅通所設置。(当時唯一の交通機関)
1798年	10年	・露帝エカテリーナ二世、近衛中尉、ラクスマンを通商のため根室に派遣。	1910年	43年	・根室港開港場に指定。
1799年	11年	・近藤重蔵、択捉に渡り「大日本恵登呂府」の標柱を建てる。	1912年	45年1月	・根室漁業組合設立。
1855年	安政元年	・幕府の属地となり奉行庁舎を根室に置く。その後は松前藩、仙台藩の所轄となる。	1915年	大正4年4月	・二級町村制が施行され、歯舞村、友知村、沖根村、沖根辺村、婦羅理村、瑠瑠村を大字とする。
1868年	明治元年	・日露通好条約を結ぶ。国境を択捉島と得撫島の間とし、択捉以南を日本領と確認。樺太はこれまで通り境界を設けない。	1916年	5年	・初代村長藤治氏就任。(歯舞地区)
1869年	2年	・東京府の属地となる。	1919年	8年11月	・北海道水産試験場根室支所設置。
	4月	・箱根村の管轄となる。(和田地区)	1921年	10年	・国鉄厚床駅開業。
1872年	5年3月	・開拓使の開設によりその所轄となり、9月開拓使松本判官が属僚とともに移住民130人を率いて来住し、開拓使役所を根室に置く。	1924年	13年	・鉄道開通。国鉄根室駅開業。
	8月	・根室開拓使役所の管下となる。(和田地区)	1929年	昭和4年	・落石電報局及び根室受信所落成。
		・根室国を置き郡を分け、今の歯舞地区を花咲郡とする。	1931年	6年	・根室拓殖鉄道株式会社の経営により歯舞～根室を結ぶ軌道が開通。
		・北米航路測量の際に標木を建立。(納沙布灯台の起源)			・根室公会堂建設。
		・根室郡役所を根室支庁と改め、管内要所に出張所を置く。	1937年	12年4月1日	・リンドバーグ夫婦、クリル各島に着陸、日本本土へ向かう。
		・官立根室病院創設。	1945年	20年7月15日	・貝殻島灯台点灯。
		・花咲郡を四村に分け、花咲、友知、沖根、瑠瑠とする。(歯舞地区)		8月15日	・戦災により中心部8割を焼失する。
	6月20日	・弁天島灯台点灯。		12月1日	・太平洋戦争(第二次世界大戦)終戦によりクリル諸島、国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島をソ連に占領される。
	7月12日	・納沙布灯台点灯。			・安藤石典根室町長(故人)は、北方領土を米軍の保障占領下に置いてほしいと連合軍司令官マッカーサー元帥に陳情。(陳情第一号)
1875年	8年	・根室町区画完成、町名を定める。郵便局開設。運卒屯所創設される。花咲郡の中に沖根、歯舞、婦羅理の三村を追加。	1946年	21年4月30日	・渡辺雄吉氏所有の第二丸(16トン)が多楽島付近でソ連にだ捕される。(だ捕第一号)
1879年	12年7月1日	・松ヶ枝町1丁目に根室測量所(測候所)を創設し気象観測を開始。	1951年	26年9月1日	・根室町警察署を維持しないことについての住民投票が行われ、圧倒的多数で廃止と決まり、道警だけとなる。
1880年	13年	・各出張所を廃し、郡役所、戸長役場を置く。	1952年	27年4月28日	・対日平和条約発効とともに根室近海のマッカーサーライン消滅。以後、日本の危険推定線と変わるが法的根拠なくだ捕事件が続く。
1881年	14年	・落石、昆布盛の二村を花咲郡に編入したが、行政区画のため現在の和田地区に編入。花咲村以下7カ村が根室支庁直轄となる。(歯舞地区)		8月25日	・対日平和条約発効とともに根室近海のマッカーサーライン消滅。以後、日本の危険推定線と変わるが法的根拠なくだ捕事件が続く。
1882年	15年	・開拓使役所を廃し根室県を置く。(札幌、函館とともに北海道三県分立時代)	1954年	29年5月10日	・花咲灯台霧信号所鳴笛開始。
1885年	18年	・根室屯田兵事務所を根室県庁内に設け、屯田兵移住地として本隊本部を置く。(和田地区)			・根室地方に暴風雨、漁船乗組員191人遭難死亡、管内の被害額7億円。5月30日乗組員191人の合同葬儀が花咲小学校で行われる。
1886年	19年	・鹿島置庁とともに根室支庁となる。	1955年	30年6月14日	・和田村開基70周年記念行事開催。
		・屯田兵440戸入地、和田村を建設。落石村、昆布村を管轄として和田村ほか2カ所戸長役場を設け事務開始。(和田地区)	1957年	32年8月1日	・市制施行。
1887年	20年	・支庁を廃し、根室ほか9郡役所を置く。根室港波止場築設、花咲港検潮所創設。			・根室町と和田村が合併して根室市が誕生(全道23番目、全国501番目)西田前和田村村長が市長職務執行者となる。
1890年	23年10月15日	・支庁を廃し、根室ほか9郡役所を置く。税務署開設。		9月15日	・市制施行記念式典実施。
	11月1日	・一般町村制が施行され根室町となる。			・根室市役所厚床、和田支所開設。
1897年	30年	・穂香村、厚別村、幌茂尻村を入れ和田村ほか5カ村戸長役場と改める。(和田地区)	1958年	33年5月28日	・市長、市議会議員選挙が行われ、初代市長に西村久雄氏当選。
		・初めて戸長役場を友知村に置き、花咲村を分離して友知以下6カ村を区域とする。(歯舞地区)		6月30日	・市制施行記念式典実施。
1900年	33年7月1日			8月3日	・根室市役所和田支所閉鎖。
			1959年	34年4月1日	・市制施行記念行事として第1回根室～厚床間走行36キロ駅伝競争を実施。
				5月1日	・歯舞村を根室市に編入合併。
					・根室市建設5ヵ年計画・根室市総合開発5ヵ年計画策定。
					・労働会館開設。

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事		
1959年	昭和34年8月3日	・根室駅舎改築落成。	1974年	昭和48年7月13日	・市役所庁舎落成。		
	9月5日	・根室港開港50周年。		9月9日	・市議会議員選挙行われる。		
	10月1日	・落石口ラン局開局。		49年4月1日	・第4期根室市総合開発計画策定。		
	11月2日	・市立根室病院新築落成。		9月29日	・市立根室西高等学校、道立移管。		
	1960年	35年5月1日		・根室～沖縄1万 ² 国民平和大行進根室を 出発。	10月15日	・市長選挙行われ、3代目市長に寺嶋伊弉 雄氏当選。	
1961年	5月10日	・48度以南鮭鱒漁業危機突破全国大会開催。	1975年	10月30日	・前根室市長横田俊夫氏死去、10月27日市 民葬行う。		
	7月19日	・厚床農事センター落成。		12月7～9日	・根室市民館落成。		
	7月20日	・市役所納沙布出張所を開設。		50年2月9日	・第1回ソビエト友好展開催。(公民館)		
	12月7日	・ユリ島灯台点灯。		8月30日	・市立厚床中学校落成。		
	12月18日	・根室高等学校新築落成。		1976年	52年3月10日	・第1回北方領土復帰促進少年弁論大会開 催。	
1961年	昭和36年1月13日	・根室営林署庁舎落成。	4月22日		・アラスカ州・シトカ市と姉妹都市提携。		
4月1日	・市立柏陵中学校新設開校。(市立根室中学 校は光洋中学校と改称)	51年4月24日	・落石会館落成。				
6月30日	・武徳殿落成。	10月19日	・富山県黒部市と姉妹都市提携。				
8月9日	・金刀比羅神社創祀150年祭。	12月19日	・別当賀小学校落成。				
1962年	8月28日	・大量だ捕緊急対策住民大会を納沙布岬で 開催。	1977年	52年3月10日	・昆布盛小学校落成。		
	9月10日	・市長、市議会議員選挙が行われ、市長に西 村久雄氏再選。		7月10日	・200カイリ危機突破対策決起集会。 (青少年センター)		
	37年1月17日	・根室支庁庁舎新築落成。		9月11日	・第1回ねむるあやめ祭り開催。(北方原 生花園)		
	2月17日	・法務合同庁舎落成。		10月10日	・市議会議員選挙行われる。		
	5月1日	・釧路、根室線一級国道に昇格。		11月6日	・第1回望郷マラソン開催。(納沙布岬)		
1963年	11月10日	・市立柏陵中学校新築落成。	1978年	53年3月12日	・市営テニスコートオープン。		
	12月27日	・野付、風蓮道立自然公園に指定される。		4月1日	・和田小学校落成。		
	1963年	38年1月18日		・安全操業陳情団一行出発。(西村市長ほか 4人)	4月10日	・第5期根室市総合計画策定。	
	6月18日	・貝殻島水域コンブ採取協定締結交渉訪ソ 代表団現地報告会及び操業証明書伝達式 並びに協定締結感謝根室市民大会開催。		4月26日	・市立啓雲中学校開校式。(生徒537人)		
	6月19日	・コンブ漁船18年ぶりの安全協定水域へ出 漁。(280隻)		5月4日	・北洋鮭・鱒漁獲量大幅減少。(42,500 ^ト)		
1964年	7月16日	・ローザノフ駐日ソ連公使一行当市視察の ため来根。	1979年	8月20日	・北洋鮭・鱒漁船出漁、中型船は30%の減 船、小型鮭・鱒船は減トン問題でさみだ れ出漁。		
	8月1日	・浜中町の一部根室市に編入。		9月10日	・全国から3,000人が集まり、「全国民 参加による北方領土返還要求大会」開催。		
	9月4日	・だ捕抑留漁船員全員帰国。(根室市関係帰 還者89人)		10月8日	・市長選挙行われ、寺嶋伊弉雄氏が再選。		
	10月1日	・ピノグラードフソ連大使、高崎大日本水産 会会長一行視察のため来根。		54年1月30日	・第1回農業祭開催、8,000人の市民でに ぎわう。		
	10月21日	・低開発地域工業開発地域に指定される。		2月1日	・国後島、択捉島にソ連軍が常備軍を配置。 根室市水産加工技術研修センターオー プン。		
1964年	39年4月1日	・ノツカマップ灯台点灯。	1980年	3月4日	・市立厚床小学校校舎落成式、開校60周年 記念式典開催。		
6月1日	・第2期根室市総合開発計画策定。(7カ年)	3月25日		・市立別当賀中学校開校式。(昭和26年開 校)			
6月2日	・し尿処理場運転開始。	4月22日		・日ソ鮭・鱒漁業交渉は、漁獲量42,500 ^ト (昨年と同じ)、漁業協力費は、32億5 千万円。(昨年17億6千万円)妥結。			
8月1日	・根室農協、畜舞農協、和田主農協、厚床農 協が合併、「根室農業共同組合」として発 足。	5月30日		・根室保健所庁舎落成式行われる。			
10月1日	・「根室市の歌」制定。	6月3日		・20年ぶりに金刀比羅神社境内で「さくら 祭り」開かれる。			
1965年	10月3日	・NHK根室テレビ中継局開局。	1980年	6月20日	・市営温水プールオープン。		
	10月3日	・市長選挙が行われ、2代目市長に横田俊夫 氏当選。		7月7日	・寺嶋市長、萬屋市議会議長ら9人が姉妹 都市シトカ市訪問に出発、友好を深め15 日に帰国。		
	10月20日	・納沙布岬に故高崎達之助氏顕彰碑建立。		9月8日	・園田外務大臣来根、9日北方領土を視察。		
	11月14日	・千島会館落成。		9月26日	・色丹島にソ連地上軍が配置されていると の報道に寺嶋市長、萬谷市議会議長名で 大平総理大臣、園田外務大臣らにソ連軍 の撤退を求める要請文を打電。		
	40年3月30日	・都市計画用途地域の指定を受ける。		10月8～9日	・北方領土返還要求国際アピール委員会国 連要請団(一行250人)がニューヨーク で国連本部と各国国連代表に領土返還を 要請。		
1966年	4月27日	・根室日ソ友好親善協会設立。	1980年	55年3月20日	・根室文化服装専門学校が開校(昭和15年 開校)		
	9月12日	・市議会議員選挙行われる。		3月26日	・シトカ市のバラノフ：ブルーグラフ：パ ンドが来根、演奏会を開き市民と交流。		
	12月10日	・北方資料館落成。		4月1日	・根室市厚床会館が開館。		
	1966年	41年6月24日		・ソ連邦イシコフ漁業大臣一行来根。	5月13日	・初の根室市名誉市民に川端元治氏(根室 漁業協同組合長)に決まる。	
	8月28日	・横田市長、ソ連本國を親善訪問のため根室 を出発。		6月24日	・姉妹都市荻野黒部市長、伊東同市議会議 長らが来根、友好を深める。		
1967年	42年1月1日	・和田地区の地番改正実施。	1980年	8月1日	・市民2,500人が参加して北方領土返還要 求根室市民総決起大会がときわ台公園で 開かれる。		
	1月10日	・勤労青少年ホーム落成開館。		9月17日	・北方館(納沙布)落成。		
	11月13日	・HBC、STVテレビ根室中継局開局。		10月5日	・名誉市民川端元治氏死去。		
	1968年	43年1月23日		・成央小学校落成。	1980年	10月16日	・関係者や市民1,200人が参列して、故川 端元治氏の市葬(市と根室漁業協同組合、 道水産会の合同葬)が行われる。
	8月1日	・開基100年記念事業を実施、市民憲章及び 市旗制定、根室市史刊行。		10月16日		・寺嶋市長は参議院外務委員会の「国際情 勢等に関する件について」の参考人とし て出席。	
9月29日	・市長選挙が行われ、横田俊夫氏再選。						
1969年	44年4月1日	・根室市のシンボル制定。(花、木、鳥、ス ポーツ)					
5月31日	・第3期根室市総合開発計画策定。						
1970年	9月7日	・文化センター落成。					
	9月7日	・市議会議員選挙行われる。					
	11月19日	・根室郵便局庁舎落成。					
	1970年	45年4月1日	・市立根室西高等学校開校。				
	12月20日	・青少年センター落成。					
1971年	12月25日	・火葬場新築落成。(穂香)					
	1971年	46年4月1日	・根室市役所落石支所廃止。				
	10月30日	・釧路地方裁判所根室支部庁舎落成。					
	1972年	47年7月7日	・根室商工会館落成。				
	9月17日	・市長選挙が行われ市長に横田俊夫氏再選。					
1972年	11月14日	・老人福祉センター落成。					
	1973年	48年6月17日	・根室半島沖地震、(震度5、マグニチュー ド7.4)花咲港津波に襲われる。 被害総額約18億円。				

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事
1980年	昭和55年10月18日	・戦後初の第1回根室種馬共進会が開かれ、120頭が参加。(川口馬事公園)	1985年	8月28日	・下水終末処理場の通水式が行われ、下水道が供用開始される。
	10月25日	・伊東外務大臣が北方領土を視察。(外務大臣として3人目)		9月29日	・第1回根室市小学生陸上競技大会開かれる。
	11月21日	・根室市上水道牧の内ダム完成。		10月5日	・第1回根室産業フェスティバル開催。
1981年	56年1月12日	・資源保護のため花咲ガニの3年間禁漁が決まる。	1986年	61年1月16日	・日ソ漁業交渉危機突破緊急根室市民大会開催。
	3月1日	・共和小学校校舎落成式と開校83周年記念式典が行われる。		3月1日	・納沙布岬で千葉県のカップルが初の流水結婚式を挙げる。
	5月11日	・根室市じん芥焼却場完成。竣工式を行う。	4月18日	・羽田農林水産大臣が北洋漁業危機現地視察。	
	6月26日	・道議会議長に地元選出の松浦義信氏就任。	6月8日	・和田屯田開基100周年記念式典が和和小学校で行われる。	
	7月27日	・衆議院の沖繩及び北方問題に関する特別委員会の小沢貞考委員長ら7人が北方領土を視察。	7月1日	・市役所内に北洋漁業対策室を設置。	
	8月1日	・北方領土返還要求根室市民大会がときわ台公園で開催される。	9月4日	・観測開始以来の大雨。 (被害額1億7千2百万円)	
	8月25日	・ソ連邦と民間交渉中だった貝殻島周辺コンプ漁交渉が妥結。	9月16日	・根室市環境センターオープン。	
	9月1日	・貝殻島周辺コンプ漁に300隻が出漁。(5年ぶり)	9月21日	・市長選挙が行われ、4代目市長に大矢快治氏当選。	
	9月6日	・市議会議員選挙行われる。	1987年	62年1月11日	・沖繩派遣団の少年少女が根室を出発。
	9月12日	・民社党北方領土調査団(佐々木良作委員長)19人が北方領土を視察。		3月9日	・重要港湾花咲港区が貿易指定開港(4月1日)に決定となる。
9月27日	・納沙布岬の北方領土返還祈念シンボル像「四島のかげ橋」が完成、除幕点火式を行う。	5月15日	・北方領土特別設置法の一部改正案、衆議院で可決される。(振興基金5ヵ年延長)		
9月28日	・寺嶋市長が北方領土復帰促進民間使節団の団長として、ニューヨーク、ワシントン、国連本部訪問のため出発。	8月1日	・市制施行30周年記念式典が公民館で開催。		
11月1日	・千島歯舞諸島居住者連盟理事長の山下亮輔氏が死去(82歳)	8月26日	・「国土開発幹線自動車道建設法」が一部改正、釧路、根室間高規格幹線道路が国土開発幹線自動車道に編入される。		
11月14日	・雇用促進事業団の望洋宿舎が完成。	9月14日	・皇太子殿下御夫妻が初の根室地方を御視察。		
12月12日	・道道根室半島線の舗装工事(延長46* ₀)の完成式が行われる。	11月21日	・貝殻島周辺ウニ漁の日ソ民間協定交渉妥結。		
12月13日	・市立温根元小学校落成式。	1988年	63年3月31日	・初田牛小学校廃校となる。(昭和22年開校)	
1982年	57年2月23日		・アラスカ州スワード市貿易使節団が来根。	4月1日	・第6期根室市総合計画策定。
5月22日	・田辺国男総理府総務長官が北方領土視察。	4月10日	・濱谷公宏氏が初の市民栄誉賞を受賞。		
5月26日	・松野幸泰北海道開発庁長官が市内、北方領土視察。	4月17・18日	・根室市温水プール新築オープン。		
6月1日	・貝殻島周辺コンプ漁出漁。	7月15日	・「スポーツ・健康都市」を宣言。		
7月25日	・札幌交響楽団のグリーンコンサートが明治公園で開かれる。	11月22日	・宇野外務大臣北方領土視察。		
8月31日	・北方領土問題等の解決の促進のための特別設置に関する法律(北方領土隣接地域振興基金)が公布。	1989年	平成元年2月19日	・日ソ合弁事業見返りソ連200カイリ内鮭鱒出漁。(32隻)	
9月19日	・根室市長選挙で寺嶋伊弉雄氏3選される。	4月1日	・「サイロのある明治公園」が、北海道まちづくり100選に選定される。		
10月4日	・参議院沖繩及び北方問題に関する特別委員が北方領土を視察。	4月29日	・花咲港小学校校舎新築落成及び開校93周年記念式典が行われる。		
1983年	58年3月31日	・明治公園完成。	4月30日	・根室市第二老人福祉センター及び西浜児童会館の複合施設がオープン。	
	5月2日	・あさひ保育所開所。	7月1日	・JR標準線が廃止される。	
	7月5日	・衆議院沖繩及び北方問題に関する特別委員会が北方領土を視察。	7月1日	・標準線の代替バスが運行開始。(厚床~標準間)	
	8月20日	・安倍外務大臣北方領土を視察。	9月3日	・根室市キャンプ場が温根沼にオープン。	
	9月1日	・北海道市長会秋季助役会議総会、根室市で開催。	11月2日	・市議会議員選挙行われる。	
9月30日	・ときわ台公園に、モニュメント像設置。	12月7日	・厚床駅、厚床バス待合所、厚床駅前広場の完成を祝うオープンセレモニーが行われる。		
10月19日	・友知漁港完成、通水式行われる。	1990年	2年2月1日	・NHK-FMラジオ根室中継局が開局。	
1984年	59年1月28日		・「根室市総合住民情報システム」がスタート。		
3月20日	・落石小学校校舎落成式と開校90周年記念式が落石小学校で行われる。	3月21日	・ソ連から提案されている「1992年以降の沖獲り禁止」の撤回を求める。北洋鮭鱒漁業危機突破緊急根室大会開催。		
4月1日	・根室市観光物産センターが納沙布岬にオープン。	3月27日	・北方領土「四島の開発プラン」表彰式が行われる。		
7月7日	・「あけぼのゲートボールコート」が完成。	4月1日	・根室市文化センターが「根室市図書館」に名称変更。		
8月30日	・民法ラジオ局(HBC、STV)相次いで開局。	5月8日	・根室市郷土資料保存センターが花咲港にオープン。		
9月8・9日	・「長節湖水祭り」が11年ぶりに開催。	6月14日	・根室市東京事務所開設。(東京都千代田区)		
14・15日	・「根室かにまつり」が4年ぶりにときわ台公園で開催。	8月8~10日	・大矢市長、「ロシア連邦共和国訪問北海道代表団」の一員として訪ソ。		
10月31日	・重要港湾根室港の本格着工に伴う修祓式が花咲岬で行われる。	9月9日	・姉妹都市黒部市生地小学校が親善訪問のため来根。		
1985年	60年5月2日	・北洋鮭鱒漁業危機突破緊急根室市民大会が根室漁協市場で開かれる。	9月9日	・大矢快治氏が市長に再選される。	
	5月25日	・「議員定数を減少する条例についての公聴会」が商工会館で開かれる。	9月11日	・市立落石診療所が9年ぶりに診療再開。	
	5月26日	・北方館の入館者200万人達成。	9月13日	・市立厚床診療所が6年ぶりに診療再開。	
	7月12日	・後藤田総務庁長官北方領土視察。(~13日)	9月14~16日	・第5回ソビエト友好展が11年ぶりに開催。(公民館)	
	8月4日	・作曲家(故)高橋掬太郎氏と作曲家飯田三郎氏の業績をたたえる音楽碑「ここに幸あり」の除幕式が行われる。	9月17日	・「(仮称)根室市総合文化会館」着工。	
	8月22日	・古屋自治大臣が北方領土を視察。	10月7~8日	・姉妹都市シカゴ市親善訪問団来根。	
	8月25日	・北方領土返還要求根室管内住民大会が望郷の岬公園で開催。	10月23日	・北方領土国際セミナー開催。(根室グラントホテル)	

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事	
1990年	平成2年11月21日	・花咲港地域テレビ放送中継局開局。(民報4局とNHK)千島会館が新築落成。	1994年	平成6年10月15日	・海洋科学に関する国際会議「第3回バイセス年次会合」開催。(図書館ほか)	
	12月1日	・千島会館が新築落成。		～24日	・「アダム、ラクスマン(ロシア初の遣日使節)の根室来航記念碑「歴史の然(ぜん)」の除幕式。(ときわ台公園)	
	1991年	3年2月25日		・「根室市ウニ種苗生産センター」落成。	10月20日	・根室市温根沼会館(コミュニティみずとり)オープン。
		4月12日		・根室市東京事務所移転。(東京都台東区)	1995年	7年4月3日
	5月1日	・「根室市フィールドアスレチック=根室国探検広場」が明治公園隣接地にオープン。		4月14日		・根室市春国岳原生野鳥公園ネイチャーセンターがオープン。(東梅)
	5月3日	・四極交流盟約締結。(本土東西北端の市町、東=根室市、西=長崎県小佐々町、南=鹿児島県佐多町、北=稚内市)		4月28日	・根室市福祉会館オープン。(旧図書館を転用改造)	
	5月14～17日	・姉妹都市シトカ市からマウントエジカム高校生ら一行7人が来根。		5月25日	・「ふれあい広場」が旧臨港線跡地にオープン。	
	6月1日	・根室湾沖「新ホタテ漁場」のホタテけた網漁解禁。		6月20日	・「市老人デイサービスセンター」と「在宅介護支援センター」が有磯町に完成。(特別養護老人ホームはまなす園に併設)	
	7月1日	・「JR釧路～根室間の愛称を「JR花咲線」と決定。		7月15日	・根室市総合計画(第7期)策定。	
	7月6日	・根室観光汽船「高速旅客船ベニスラ号」が根室港と尾岱沼間に就航。(平成6年に運行廃止)		9月8日	・「根室空襲、戦後50年」関連行事開催。(根室市総合文化会館ほか)	
8月17～22日	・サハリン州の子供たち一行67人が来根。	9月30日	・外国船貿易船入港2千隻達成。(花咲港)			
9月1日～	・第1回根室市ねんりんピック'91開幕。(高齢者2,625人参加)	1996年	10月26日	・姉妹都市提携20周年、シトカ市友好親善訪問団来根。		
10月3日	・根室市ウニ種苗生産センターからウニ種苗の初出荷。(ウニ種苗58万粒出荷)		11月18～22日	・大地震にも耐えられるよう免震支承工法を道内で初めて採用した、(新)温根沼大橋が完成。		
10月28日	・ラクスマン根室来航200年記念映画「おろしや国酔夢譚」鑑賞会。(全国一斉封切りに先駆け上映)		8年1月6日	・「根室海洋、水産国際ワークショップ'95ロプスター」開催。		
1992年	4年4月15～17日		・ラクスマン根室来航200年記念映画「おろしや国酔夢譚」鑑賞会。(全国一斉封切りに先駆け上映)	4月1日	・根室市総合運動公園建設事業の初めての施設「新・根室市スケートリンク」が市内西浜町に落成。	
	4月22～27日		・北方四島在住島民ピザなし交流団花咲港に歴史的な第1歩。(北方四島からの第1陣19人來道)	5月15日	・根室税関支所「花咲分庁舎」設置。(花咲港)	
5月2日	・「根室市営ゲートボール場」が駒場町にオープン。		5月21日	・13年ぶりに5月に降雪を観測(同日降雪の中ロシア200カイリ内サケ、マス流し網漁出漁)		
5月11～17日	・北方四島北海道訪問団ピザなし渡航。(日本からの第1陣45人、国後島、色丹島、択捉島)を訪問。		6月23～28日	・釧路市、帯広市、北見市、網走市、紋別市、根室市の道東六市間で防災協定締結。		
7月4日	・根室港花咲港区東地区大型岸壁完成記念式典。		7月30日	・「バイセス、グローベック国際会議」開催。(新)葬斎場「蒼蒼苑」が落成。(穂香)		
8月14日	・日口交流拠点「根室インフォメーションセンター」が花咲港にオープン。		8月6日	・姉妹都市提携20周年記念、黒部市少年少女親善交歓大会開催。		
9月11日	・台風17号により記録的な大雨。(観測史上最高/1日で211.5mm)		9月5日	・「根室市水産研究所」が市内温根元に新築落成。		
10月20日	・ラクスマン(ロシア最初の遣日使節)来航200年記念講演会及び記念パーティー。	9月27日	・北方四島交流北海道推進委員会「みんなで考えようピザなし交流inねむろ」を開催。			
1993年	5年1月15日	・釧路沖地震発生。(根室市内/震度4、住宅一部損壊等の被害)	10月1日	・ツールド北海道が根室市入り。		
	4月3日	・根室市総合文化会館落成記念式典。(同会館)	10月16日	・根室高等学校が姉妹都市シトカ市シトカ高校と姉妹提携を結ぶため、同校長と生徒2名らがシトカ市を訪問。		
6月30日	・落石ロラン局開局。(34年間の歴史に幕)	11月30日	・市内で最も古い歴史をもつ花咲小学校が創立120周年記念式典開催。			
7月27～29日	・第32回日本海洋少年団北海道大会が25年ぶりに開催。(根室港ほか)	12月18日	・貿易船入港1千隻記念セレモニー開催。			
9月9日	・根室地方合同庁舎(税務署、法務局、測候所など5官庁入居)落成式開催。(根室商工会館)	12月26日	・根室市防災ヘリポート開港。(穂香)			
9月19～23日	・根室市初の国際会議「北太平洋の海洋科学に関するねむろ国際会議'93」開催。(根室市総合文化会館)	1997年	9年3月1日	・ねむろ情報ダイヤル2626の運用開始。		
10月1日	・「小樽検疫所花咲出張所」開所。		3月23日	・飯田三郎資料展示室が市図書館にオープン。		
1994年	6年1月27日		・セベロクリリスク市(ロシア連邦サハリン州)と姉妹都市提携。	4月8日	・まつもと保育所・子育て相談所が市内松本町に新築落成。	
	4月2日		・市立こまば保育所新設(しおみ保育所及びつきみ保育所の統合)	5月27日	・根室警察署新庁舎落成式を挙げる。	
5月1日	・「根室市観光インフォメーションセンター」新築落成式開催。		6月8日	・根室青年会議所創立35周年記念式典を総合文化会館で開催。		
5月14日	・根室市図書館オープン。(旧公民館を転用改造)		8月1日	・根室市制施行40周年記念式典を市総合文化会館で開催。		
5月24日	・根室市水産研究所が温根元にオープン。(所長/東京理科大学総合研究所、橋高二郎教授就任)		8月27日	・市議会議員選挙行われる。		
5月30日	・市役所第2庁舎業務開始。(大正町1-30)		9月8日	・「'97バイセス12カニ類とエビ類に関する根室国際会議」開催。		
6月12日	・根室市パークゴルフ場オープン。(宝林町4丁目)		11月4日	・根室市のインターネット「ねむろ」が開通。		
6月29日	・落石岬地球環境モニタリングステーションの竣工式典開催。		11月15日	・根室市社会福祉協議会40周年記念・根室共同募金50周年記念社会福祉大会。		
8月5日	・根室市で初めての「4極交流首長、子供サミット」開催。	12月15日	・自航式はしけ「希望丸」進水式。			
8月31日～	・姉妹都市セベロクリリスク市の青少年親善訪問団(18人)が来根、根室西高校と交流。	1998年	10年1月1日	・ロシア・ルゴサによる初日の出クルーズを実施。(1月1日～1月3日)		
9月3日	・市長選挙で大矢快治氏3選される。		1月1日	・「仮称・コミュニティFMねむろ設立準備会」が24時間デモ放送を実施。		
9月11日	・北海道東方沖地震発生(震度5、マグニチュード8.2)家屋半壊、花咲港津波被害、総合文化会館など被害甚大。		1月26日	・北方領土問題検討プロジェクト会議を市役所内に設置。		
10月4日			2月1日	・外務省欧亜局N I S支援室が北方四島住民への緊急人道支援として新造した自航式はしけ「希望丸」の引渡し式典を実施。		

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事		
1998年	平成10年3月6日	・根室市が「地域づくり自治大臣表彰」の世界に開かれたまち部門を受賞。	2000年	平成12年4月1日	・「根室市白鳥台センター」と「総合運動公園テニスコート」がオープン。		
	3月15日	・別当賀小学校が開校以来、92年の歴史に幕を閉じる。		5月12日	・統訓弘総務庁長官が北方領土を視察。		
	4月1日	・ごみ処理手数料に変わる従量制が4月1日からスタート。		7月24日	・市立根室病院と旭川医大遠隔医療センターを結び遠隔医療システムがスタート。		
	4月3日	・昭和62年4月に貿易港の指定を受けた重要港湾の根室港・花咲港区で、貿易港の入港5千隻を達成。		8月23日	・森田一運輸大臣・北海道開発庁長官が北方領土を視察。		
	5月3日	・初田牛開基100年記念式典を挙げる。		8月23日	・市内温根沼のオンネベツ川河口近くでカレイの刺し網に絡まり、水死しているヒグマが発見される。		
	7月1日	・ペットボトルの無料回収をスタート。		8月24日	・羽田孜幹民主党幹事長がビザなし交流に参加（首相経験者として初めて）		
	7月21日	・北海道の事業、北方四島交流施設が市内穂香で着工される。		9月3日	・プーチンロシア大統領が来日。日口首脳会談が開かれる。領土問題解決による日口平和条約の締結について交渉継続するとして共同声明を発表。		
	8月19日	・2000年まであと500日に迫り、市・観光協会が市役所前にカウントダウンボードを設置、除幕式を行う。		9月10日	・ギネスブック公認記録に挑戦する「チャレンジャー・ザ・ギネス」が行われ、風船で根室をPRする造形物を制作。		
	9月7日	・米海兵隊の矢立別突弾訓練に使用されるりゅう弾砲や車両などが、根室港区花咲港で陸揚げされる。		9月14日	・統訓弘総務庁長官がビザなし交流に参加。		
	9月13日	・第12回根室市長選挙が実施され、新人の藤原弘氏が初当選を果たす。		9月15日	・根室市歯舞コミュニティセンターがオープンする。		
	10月16日	・第3回根室市市議会定例会が開催され、藤原市長が初の所信表明を行う。		10月1日	・北方四島返還要求国民集会innEMURROが納沙布岬望郷の岬公園で行われる		
	10月19日	・根室市で撮影されていた映画「故郷」のロケに根室市民約300人が参加して撮影が行われる。		11月15日	・「衆議院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会」に藤原根室市長ら3人が意見陳述をする。		
	10月21日	・北方四島周辺水域での「安全操業」で太平洋側A水域でタコ空釣漁が市内落石港、花咲港に初水揚げ。		2001年	13年1月22日	・花咲港への貿易船の入港隻数が1万隻を突破する。	
	10月27日	・全国から海上保安部と社会法人燈光会が募集していた「貴方が選ぶ日本灯台50選」に根室の納沙布岬、花咲港、落石岬が選ばれる。			2月17日	・橋本沖縄・北方対策大臣が北方領土を視察する。	
	11月10日	・'98バイセス・オホーツク海根室国際会議が市総合文化会館で開催される。（科学者4カ国から40人参加）			2月25日	・「日口地先沖合マダラ漁業危機突破根室市民総決起大会」が開かれる。	
	11月12日	・日口首脳会談がロシアモスクワで開催され、「日口政府間に国境画定委員会を新たに設置。北方領土の元島民による自由往來を認める。」との合意がなされ、歴史的成果を得る。			4月1日	・市立根室病院の副院長が2名となり、産婦人科医師が常勤化。固定医も15名体制と充実する。	
	12月8日	・根室市厚床消防分遣所落成式。			4月7日	・森首相が北方領土を視察。現職総理としての視察は20年ぶり。	
	1999年	11年1月18日			・根室と国後島間で設置されていた通信用の「海底ケーブル」の一部が引き揚げられる。	6月14日	・根室市と市内15郵便局の「子ども110番郵便局連絡所設置」覚書調印式が市役所で行われる。
		3月10日			・新ゴミ埋立処理場完成式。	7月17日	・北方四島交流センターで第42期王位戦が行われる。
4月1日		・根室市の情報公開制度がスタートする。	8月1日		・尾身沖縄・北方対策担当大臣が北方領土を視察する。		
4月14日		・根室市農業会館完成。	8月11日		・姉妹都市提携25周年の節目を迎え黒部市と友好都市盟約書「友好の絆」の調印式が行われる。		
5月4日		・太田誠一総務庁長官が北方領土視察。	8月28日		・明治公園のシンボルとなっている3基のレンガ造りのサイロが国の有形文化財に登録される。		
5月26日		・藤原市長「ビザなし交流訪問団団長」としてビザなし交流に初参加。	9月1日	・「味覚観光都市ねむろ」を宣言。			
7月1日		・東宝映画「ゴジラ2000ミレニアム」の撮影が根室市内で行われる。	9月9日	・市議会議員選挙が行われる。			
7月29～8月5日		・「北方領土・国後・『爺爺岳』専門家交流訪問団」出港。	12月24日	・広小路商店街商業近代化事業竣工式が行われる。			
8月6～12日		・「択捉島ラッコ専門家交流訪問団」出港。	2002年	14年1月16日	・能代内閣府副大臣が北方領土を視察する。		
8月20日		・「株式会社ねむろ市民ラジオ」創立総会が市総合文化会館で開かれる。		1月28日	・1月としては、根室観測史上最大の瞬間風速36メートルを記録する。		
9月9日		・スワン44ねむろ（白鳥台センター）が建設中の『道の駅』の指定を受ける。		4月2日	・水産総合研究センターの柏井誠氏が根室市初の水産専門アドバイザーとなる。		
9月11～12日		・98年の日口首脳会談で合意された。元島民、家族による初の「北方四島自由訪問団」第1陣が志初島を訪問する。		5月29日	・尾身沖縄・北方対策担当大臣が北方領土を視察する。		
10月1日		・根室市初の道立施設「北方四島交流センター」の管理運営委託契約調印式が行われる。		6月13日	・根室市内の4郵便局と根室市で、「廃棄物等の不法投棄に関する情報提供の業務委託」を締結する。		
10月16日	・根室市民による初の親善訪問団「イーストポイント・ジャズオーケストラ」が姉妹都市のシトカ市を訪問。	7月9日		・根室商工会議所企画による「ロシア・カムチャッカ州経済訪問団」が同州を訪問する。			
10月24日	・国後古釜布に緊急避難所兼宿泊施設「日本人とロシア人の友好の家」が完成。現地で行われる。	7月12日		・納沙布岬灯台が生誕130年を迎える。			
11月11日	・落石漁協「臨港道路」（しお風ロード）開通式が行われる。	8月23日		・外務大臣としては14年ぶりに川口外務大臣が北方領土を視察する。			
11月18日	・根室市と姉妹都市の黒部市との間で「災害時における姉妹都市相互の応援に関する協定」締結。	9月16日		・根室市長選挙が行われ、藤原弘氏が再選される。			
12月31日	・世紀越えイベント「日出づる国フェスティバル」が開催される。	10月6日		・姉妹都市の黒部市・根室市の親善バトミントン大会が市青少年センターで開催される。			
2000年	12年2月7日	・「道立北方四島交流センター」オープン。		10月18日	・日本弁護士連合会が根室市内に公設弁護士事務所を設置することを発表する。		
	2月25日	・市内西浜町の海岸に沿岸氷が積み重なり「冰山脈」が出来上がる。		10月26日	・根室市薬物乱用防止決起大会が市総合文化会館で開催される。		
	4月1日	・市立根室病院医師派遣大学を東京医科大学から旭川医科大学に切り替える。		12月4日	・第三種・落石漁港浜松分区分（浜松地区）供用開始される。		

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事
2002 年	15 年 1 月 14 日	・参院・沖縄及び北方領土に関する特別委員会が北方領土を視察する。			
	2 月 9 日	・根室味覚観光大使の委嘱状交付式が白鳥台センターで行われる。			
	3 月 7 日	・根室ひまわり基金法律事務所が開設される。道内では、網走、紋別に次ぐ3番目の開設となる。			
	4 月 24 日	・根室市出身の作曲家 飯田三郎氏が死去。			
	4 月 26 日	・旧別当賀小学校を改修した生涯学習施設「別当賀夢原館」がオープン。			
	5 月 11 日	・根室ロシアフェスティバル 2003 が北方四島交流センターで開催される。			
	8 月 23 日	・高橋はるみ北海道知事が知事就任後初めて北方領土を視察する。			
	8 月 31 日	・細田沖繩及び北方対策担当大臣がピザなし交流に参加。国後島を訪問する。			
	9 月 18 日	・市立根室病院で北方四島人道支援摂捉患者を受け入れする。			
	9 月 26 日	・平成 15 年十勝沖地震が発生する。根室市の震度は4。港湾施設などを中心に大きな被害がでる。			
	10 月 21 日	・市立厚床小学校が前田一步園財団設立 20 周年記念特別賞を受賞。			
	12 月 15 日	・荒木敏充沖繩及び北方対策担当大臣が北方領土を視察する。			
	12 月 20 日	・野村在ロシア特命全権大使が北方領土を視察する。			

北方領土返還運動のあゆみ

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事			
1945年	昭和20年 8月15日 8月18日 8月23日 9月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ポツダム宣言受諾。 ・占守島にソ連軍武力侵入。 ・日ソ両軍現地停戦協定締結。 ・日本、ミズーリ号上にて連合国への降伏文書に調印。 ・連合軍司令部から、「千島列島の日本全守備軍はソ連極東軍最高司令官に降伏すべし」と命ぜられる。 	1951年	昭和26年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道議会「千島列島の帰属に関し」決議。 			
			11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・千島住居者漁船で根室へ脱出をはかる。 ・北方領土のソ連軍不法占領に対し米軍の占領下において治安の回復をはかる目的で北海道附属島嶼復帰懇請委員会(仮称)結成の動きが根室町に起こる。 	1952年	27年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・対日平和条約発効とともに根室近海のマッカーサーライン消滅、以後日本の危機推定線に変わるが、法的根拠なく、だ捕船が捕出したため安全操業を望む声が出る。 	
			12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・根室町長安藤石典、北方領土を米軍の保障占領下に置いてほしいと連合国軍師司令官マッカーサー元帥に陳情する。 	1953年	昭和28年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・根室地方平和推進経済復興同盟根室市の有力者により結成、北方領土返還までの暫定的な措置として国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島の接岸操業を主張。 	
			1946年	21年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連(樺太南部、千島列島、国後島、択捉島、色丹島、歯舞諸島)をソ連邦憲法及びロシア共和国憲法通用地域とし土地、所在資源などを国有化、自国領に編入を宣言。 	1954年	29年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・復興同盟富樫会長ストックホルム平和集會に出席、歯舞群島への接岸操業をソ連側に提案。
1946年	21年 4月12日 4月30日 7月3日 8月6日 8月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連人民委員会、島民残留者に対し国後地方ウブラウレニヤ法令を布告、日本役場を解散させ行政をソ連法令によることとし、以後島民に対する警戒は厳重となり脱出も不可能となり、居住者はソ連人民となるものと心配した。 ・第二曉丸(渡辺雄吉所有、船長堀雄太郎、乗組員4人)多楽島沖合でソ連にだ捕される。(同年6月15日帰還)だ捕事件第1号以後日を追って多発。 ・北海道附属島嶼復帰懇請委員会設立(会長安藤石典根室町長) ・懇請委、連合国総司令部マッカーサー元帥に対し、北方領土の日本復帰とソ連軍によるだ捕事件の不当、占領解除等につき陳情する。 ・北方領土復帰懇請のため地元代表5名が上京、外務省、終戦連絡中央事務局、連合国軍総司令部などを訪問陳情。 	1955年	30年1月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ドムニッキー在日元ソ連代表首席、鳩山首相に対し日ソ国交正常化に関する文書を手交。 			
			4月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・全道漁民大会を札幌市で開催「北方漁業の拡大と千島歯舞群島の返還を決議」政府へ訴える。 	1956年	31年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・千島歯舞諸島居住者連盟発足。 ・歯舞群島返還受入対策協議会開催。(根室町、歯舞村主催) 	
			7月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道行政機構内に領土復帰北方漁業対策本部設置。 	2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・歯舞群島の復帰を計る目的で旧歯舞村に歯舞群島対策委員会を結成。 		
			8月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・懇請委、連合国総司令部マッカーサー元帥に対し、北方領土の日本復帰とソ連軍によるだ捕事件の不当、占領解除等につき陳情する。 	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道行政機構内に領土復帰北方漁業対策本部設置。 		
			8月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土復帰懇請のため地元代表5名が上京、外務省、終戦連絡中央事務局、連合国軍総司令部などを訪問陳情。 	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・松本全権、領土問題を含む平和条約締結交渉を外交関係再開後も継続するとの公文をグルムイコソ連外務次官との間に交換。 		
			1947年	22年1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・懇請委再びマッカーサー元帥に対し、「国後地方ウブラウレニヤ法令」布告の新実態とソ連軍によるだ捕事件の不当及びソ連軍の占領解除を行いアメリカ軍の占領下に保護を受けたいと陳情。 	1957年	32年6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・鳩山首相訪ソ、日ソ共同宣言調印。第9項に「日ソ平和条約締結後に歯舞群島、色丹島を返す」と明記。
			7月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道議会「歯舞群島、色丹島及び択捉島並びに国後島の日本領土返還に関する請願」を決議、マッカーサー元帥に懇請。 	8月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の期待を裏切りソ連側のだ捕攻撃ますますはげしく日本政府駐ソ門脇大使を通じてグルムイコソ連外相に安全操業の申し入れ。 		
			8月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道附属島嶼復帰懇請根室国民大会開催、決議文をマッカーサー元帥に送付。(会場、本町桜橋広場) ・ソ連軍の命により島民残留者本土に引揚開始。(一時樺太に運行され樺太から函館に上陸) 	9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連政府、安全操業問題で日本と交渉の用意ありと回答。 		
			1949年	24年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・「根室千島国民大会」を北海道附属島嶼復帰懇請委員会の主催により開催。 	9月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市議会「安全操業実現」を決議。 	
			12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・懇請委根室地方住民及び中央関係機関に文章で千島、歯舞群島復帰懇請運動の経過報告。 	1958年	33年3月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市議会「北方領土返還及び安全操業実現」を決議。 	
1950年	25年1月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道附属島嶼復帰懇請委員会、「北海道附属島嶼である南千島及び歯舞群島の返還懇請趣意書」「千島列島概況」を発刊、世論喚起に努める。 	7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・千島歯舞諸島居住者連盟内閣総理大臣認可の社団法人となる。 				
3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道議会、北方領土返還懇請について政府及び全国知事に訴える。 	12月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・日ソ友好親善を深める目的で日ソ協会根室支部設立。(事務局根室市役所内、当初70名4年後330名に達する。) 					
11月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・千島及び歯舞群島復帰懇請同盟結成(事務局札幌市)以後北方領土返還運動の中心団体となり機会のあるごとに中央関係機関に対し懇請。 	1959年	34年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・駐ソ門脇大使、ソ連外務省にソ連のわが国漁船だ捕措置は不法と通告。 				
12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・千島及び歯舞群島返還復帰道民大会、札幌市で開催。(千島及び歯舞群島復帰懇請同盟主催) 	1960年	35年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・グルムイコソ連外相日米新安保条約を非難、在日外国軍隊が撤退せぬ限り歯舞色丹島を引渡さぬと通告。 				
1951年	26年3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道議会再び「歯舞群島及び千島列島返還懇請」を決議、決議文をマ元帥に送付。 	2月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・山田外務次官、駐ソソ連大使に対し、1月27日の通告は領土問題につき共同宣言に新しい条件を付し、宣言内容を変更せんとすることは承認できない旨の覚書を手交する。 				
7月23~28日	<ul style="list-style-type: none"> ・懇請同盟陳情団を編成北方領土復帰につき中央陳情懇請。 	10月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和33年7月1日設立の「日ソ平和条約締結根室地方近海漁業協定締結促進期成会」を「北方領土対策協議会」に改組。 					
8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・全国知事会で「北方領土及び南領土の領土権確保」を決議。 	1961年	36年8月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ミコヤンソ連第一副首相ら来日。 				
9月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ平和条約を調印、ソ連調印せず、日本、千島列島の権利、権原請求権を放棄。 	8月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・ミコヤン副首相、池田首相にフルシチョフソ連首相の親書を手交、この中で日米安保体制を非難。 					
			8月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・貝殻島沖合で大量だ捕事件起きる。(こぶ船11隻、カニ船2隻計13隻、乗組員32人、内高校生2人が含まれていた。) 				
			8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・池田首相、フルシチョフ親書に返書、北方領土返還が日ソ平和条約への道であると主張。 				
			9月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・大量だ捕緊急対策陳情団を編成、少年を含むだ捕船員の「即時釈放」「貝殻島周辺での安全操業実現」など6項目を政府関係機関に陳情。 				

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事	
1961年	昭和36年9月29日	・フルシチョフソ連首相、池田首相に返書、この中で北方領土はすでに解決済であると声明。(9月25日付)	1969年	昭和44年8月5日	・北方領土復帰期成同盟など全国の協力団体とともに北方領土視察及びキャラバン実施。	
	10月30日	・北方地域旧漁業権者等に対する特別措置に関する法律成立。政府、北方地域元居住者等の援護措置として国債10億円を北方協会に公布。		8月23日	・北方領土返還署名百万人突破全国大会札幌市において開催。	
	11月15日	・池田首相、フルシチョフソ連首相に返書、日ソ間の領土問題は未解決である、日本はヤルタ協定に拘束されぬ、国後、択捉両島については日本はなんらの権利をも放棄しないと反論。		8月27~28日	・第5回北方領土墓参実施される。	
1963年	38年1月14日	・日ソ協会根室支部「北方墓参実現署名運動」始める。	1970年	45年2月13日	・北方領土問題をテーマに「道東六市長提携会議」開催、政府に陳情。	
	3月28日	・千島及び歯舞群島返還懇請同盟、北方領土復帰期成同盟と改称(昭和40年4月28日外務大臣認可の社団法人となる。)		4月10日	・北方領土返還を米国務省、国連等に訴えるため、北方領土返還期成同盟会長松本俊一氏、道領対本部長松崎了介氏ら民間使節団一行4名渡米。	
	6月10日	・モスクワで待望の貝殻島周辺昆布漁の民間協定締結。		8月14日	・根室市、北方領土返還運動推進の一環としてPR冊子「日本の領土、北方領土」旧島民の体験を収録した北方領土終戦前後の記録を発行。	
	6月19日	・昆布船18年ぶりで貝殻島周辺安全操業水域へ出漁。(9月30日まで300隻出漁)		9月23日~25日	・第6回北方地域墓参実施。(勇留島、多楽島、国後島を墓参)	
1964年	39年5月13日	・ソ連政府、歯舞群島及び色丹島所在の日本人墓地への墓参につき応ずる用意があると通告。	1971年	46年3月20日	・北方領土居住者壮青年連合会設立(構成員は全員引揚者)	
	5月17日	・北方領土関係団体、来道のソ連最高会議議員団セルジューク代表らに北方領土返還安全操業の確立を要望。		9月25日	・「北方領土返還運動根室地域推進委員会」を解散、新たに「北方領土復帰期成同盟根室地方支部」を設置する。支部長に横田根室市長。	
	9月8日	・第1回目の北方墓参実現。(9月11日までの4日間、水晶島と色丹島の4墓地)		1972年	47年2月1日	・根室市長、根室市議会議長の連名にて、全国2,680議会(都道府県、市区町村)に対し、北方領土の早期日本返還実現についての決議方を要請。
1965年	40年2月1日	・佐藤首相、コスイギンソ連首相に対し北方領土問題の解決、国後、択捉両島への墓参実現など要請した返書送る。	4月16日		・「望郷の家」開館。(納沙布岬)	
	4月1日	・横田根室市長、北方領土問題、安全操業の解決を市政の最重点事項として市の機構を改革、企画課内に領土対策係を新設。	48年9月20日		・衆議院で「北方領土返還に関する決議案」を各党全会一致で可決採決した。	
	4月28日	・北方領土復帰期成同盟、外務大臣認可の社団法人となる。	9月21日	・参議院で「北方領土返還に関する決議案」を各党全会一致で可決採決した。		
1966年	8月1日	・ソ連政府、歯舞、色丹への墓参を認めると回答。	10月7~10日	・田中首相訪ソ、3日間にわたる日ソ首脳会談終了10日夜日ソ共同声明発表された。		
	8月16~19日	・北方領土返還運動月間実施(8月中)以降毎年8月実施。	1974年	49年8月12~17日	・北対協主催の北方少年交流会が東京で開催され根室管内の少年8名が総理大臣、総理府総務長官、外務大臣、文部大臣に北方領土の現況を訴える。	
	8月16~19日	・第2回北方領土墓参実施墓参箇所昨年と同じ。		8月21~23日	・第7回北方領土墓参実施。(多楽島、色丹島、志努島を墓参)	
	9月9日	・中川駐ソ大使、赴任にさきがけ、北方領土の現状視察のため来根。	1976年	51年1月7日	・北方領土、日ソ平和条約締結促進道民大会決議要請団上京、返還促進を要請。	
12月10日	・北方資料館落成。	5月6日		・北方墓参中止。(ソ連側はパスポート、ビザの携行を要求)		
1967年	41年2月3日	・北海道各地で北方領土返還百万人署名運動はじまる。(千島連盟主体)	7月8日	・根室市北方領土返還要求推進協議会設立総会。		
	2月22日	・初の北方領土資料展札幌市で開く。	9月11日	・宮沢外相現地視察のため来根。		
	6月14日	・北方地域墓参箇所新たに国後島も認めるとソ連回答。	12月10日	・ソ連邦沿岸200カイリ漁業専管水域実施を宣言。		
	8月23~24日	・第3回北方領土墓参実施(墓参箇所として昨年の外に、国後島、古釜布が認められる。)	1977年	52年4月15日	・日ソ漁業交渉に伴う中央陳情団上京。漁業権益の絶対確保及び200カイリ水域問題と領土問題との関連を要望。	
8月25日	・北方領土日本返還促進決議を全国の都道府県、市町村議会へ呼びかける。(根室市)	1979年		54年2月13日	・日ソ平和条約締結促進、北方領土復帰実現に関する中央要請。	
11月30日	・サハリ州ネベリスク市(旧樺太本斗)執行委員会議長から根室市と友好親善を結びたいむねの要請文、根室市長宛に届く。		1980年	55年8月1日	・北方館オープン。	
12月24日	・根室市長、ネベリスク市議長に友好親善を結ぶむねの返書。	1981年		56年1月6日	・「北方領土の日」の設定について閣議了解。	
1968年	42年9月4~8日		・第4回北方領土墓参実施、墓参箇所昨年同様。	2月7日	・初の「北方領土の日」記念住民大会開催。	
	9月29日	・根室市議会内に「北方領土対策特別委員会」設置。	9月10日	・鈴木首相、現職首相として初めて北方領土を空陸から視察。(中山総務長官、原北海道開発庁長官、中川科学技術庁長官同行)		
1969年	11月1~10日	・初の北方領土早期返還促進キャラバン隊、道内47市町村に派遣。(以降毎年実施)	9月27日	・北方領土返還祈念シンボル像「四島のかけ橋」が納沙布岬に完成。		
	43年5月27日	・ノサップ岬に北方領土返還PRガイドを置く。	10月4日	・寺嶋根室市長を団長とする北海道使節団が国連で国際世論喚起のため、渡米。		
1969年	44年3月5日	・総理府田中総務長官北方領土現地視察のため来根する。(総務長官として初めて)	1982年	57年8月20日	・北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律成立。	
	3月14日	・色丹島、国後島の転籍届けを元島民が根室市役所に願い出た。		8月22日	・国際親善ノサップ岬健康マラソン大会開催。(北方同盟、北海道、根室市ほか主催)	
	3月14日	・北方領土問題各省連絡会議で国土地理院の地図に択捉島以南を入れる方針決定。		58年2月7日	・「北方領土の日」根室管内少年弁論大会開催。(以降毎年根室市で開催)	
	3月18日	・特殊法人「北方領土問題対策協会」設置法案を閣議決定。		1985年	60年7月27~28日	・北方領土返還祈願望郷ラインサイクリング実施。(羅臼~納沙布岬)
	5月22日	・「北方領土問題対策協会法」公布。(法律第34号)			8月25日	・北方領土返還要求根室管内住民大会開催(望郷の岬公園)三千人集会。
1969年	44年3月5日	・北方領土問題各省連絡会議で国土地理院の地図に択捉島以南を入れる方針決定。	1986年	61年8月21~24日	・第9回北方領土墓参実施、11年ぶり再開。(色丹島、水晶島を墓参)	

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1987年	昭和62年8月25日～28日 11月21日	・第10回北方領土墓参実施。(色丹島、水晶島を墓参) ・貝殻島周辺ウニ漁の日ソの民間協定交渉妥結。	1994年	平成6年4月5日	・ボキージン南クリール地区長が根室市に対し北方領土水域での民間協定による漁業協力を提案。
1988年	63年8月23～26日	・第11回北方領土墓参実施。(色丹島、多楽島14年ぶり、志発島13年ぶり墓参)		4月18日	・ビザなし渡航の特別措置として、銃撃を受け捕された第68由貴丸、能登敬一船長への面会のため親族3名、外務省職員、医師が色丹島アナマに向けて出発。
1989年	平成元年8月22～27日	・第12回北方領土墓参実施。(第1班、国後島、古釜島19年ぶり、第2班、色丹島、多楽島、志発島を墓参) ・「第1回北方領土フォーラム」開催。(以降毎年開催)		4月22～27日	・北方四島からビザなし交流団第1陣70人が来道。(今年度全6陣で342人来道)
1990年	2年3月27日 6月14日	・北方領土「四島の開発プラン」表彰式。 ・大矢市長、「ロシア連邦共和国訪問北海道代表团」の一員として訪ソ。		5月11～13日	・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第1陣48人が訪問。今年度、全7陣で324人渡航)
	8月24日～9月2日	・第13回北方領土墓参実施。(第1班、国後島乳呑路、泊、志発島を墓参) (第2班、択捉島留別、色丹島を墓参) (第3班、択捉島紗那、薬取を墓参)なお、択捉島は戦後初めての実施。		7月4～8日	・初の北隣協主催による、日本側ビザなし訪問実施。(団長大矢根室市長、計45名)
1991年	3年4月16～19日	・ゴルバチョフ大統領、ソ連最高首脳として、史上初めて来日。		8月15日	・カニご漁船第38 貴栄丸の名越憲和甲板員が秋勇留島沖で国境警備隊による銃撃を受け負傷捕される。
	8月17日	・サハリン州の小中学生及び引率者(計67人)花咲港に入港(四島在住者含む)		8月22～24日	・第17回北方領土墓参実施。 (第1班、多楽島フルベツを墓参) (第2班、国後島泊、プニを墓参)
	8月22～27日	・第14回北方領土墓参実施。 (第1班、色丹島ノトロ、択捉島薬取、別飛、内保を墓参) (第2班、国後島植内、歯舞群島勇留島トコマを墓参) (第3班、国後島東佛沸を墓参)		8月23～25日 8月31～9月2日	・(第3班、国後島ラシコマンベツを墓参) ・(第4班、色丹島チボイ、択捉島年萌、紗那を墓参)
1991年	3年8月26日	・外務省ソ連課長による日ソ交渉経過説明会。		10月4日	・根室東方沖でマグニチュード7.8の地震が発生。釧路、根室地方はもとより北方四島も甚大なる被害を受ける。(北海道東方沖地震)
	10月14日	・モスクワでの中山、パンキン外相会談でビザなし渡航合意。		10月6日	・カレイ刺し網漁船第68 宝来丸が秋勇留島沖で国境警備隊による銃撃を受け沈没。浅井雄一船長他2名が捕される。
	11月17～23日	・大矢市長、「北方領土総合理解促進対話、交流使節団」副団長として訪ソ。		10月15～17日	・北方領土返還要求運動連絡協議会(北連協)が北海道東方沖地震で被災した北方四島在住ロシア人を救済するため「北方領土島民救済委員会」を設置。
	12月3～5日	・ロシア、ソビエト連邦社会主義共和国ロシアテレビ公社が北方領土問題取材のため来根。		10月23日	・政府、北海道、民間団体による北方領土への人道支援訪問団が根室港を出港(国後島、色丹島、択捉島を支援)
1992年	4年4月1日 4月22日～27日	・根室市役所に国際交流課新設。 ・北方四島在住島民、ロシア側ビザなし交流団花咲港に歴史的な第1歩。(第1陣19人が来道今年度、全6陣で268人が来道)	1995年	4月23～28日	・ロシア北方四島行政関係者6人がビザなし訪問。(花咲港に入港)
	5月11～17日	・北方四島への日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第1陣45人が国後島、色丹島、択捉島を訪問。今年度、全6陣で268人渡航)		5月6日	・北方四島からビザなし交流団第1陣73人が来道。(今年度全7陣で426人が来道)
	5月30日	・根室市北方領土返還要求推進協議会会長に河原勝治氏選出。		5月19～23日	・ロシア国境警備隊に捕、抑留されていた第58 海栄丸の久保田金蔵船長と第83 金徳丸の寺沢則昭漁労長が釈放。これにより、ロシアに抑留されている日本人は約2年ぶりにゼロとなる。
	8月19日	・第1回北方領土問題教育指導者研修会開催。(以降毎年開催。)		6月7日	・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第1陣46人が訪問。今年度全8陣で371人渡航)〔平成7年度より国会議員が訪問団顧問として参加、第1陣に鈴木宗男衆院議員、坪井一字参院議員が参加した〕
	8月22～26日	・第15回北方領土墓参実施。 (第1班、択捉島年萌、紗那を墓参) (第2班、色丹島斜古丹、多楽島フルベツを墓参)		7月5～7日	・衆参両院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会が北方領土問題の解決促進に関する決議を採決。
	9月9～16日	・(第3班、国後島乳呑路を墓参)		7月15～16日	・平成7年度第1回の政府人道支援物資が出港。(国後島、色丹島を支援)
	9月12～14日	・(第4班、国後島ポンチカリ、中の古丹を墓参)		8月6日	・ロシア、イズベスチヤ紙のオットーラツィス論説委員が北方領土問題取材のため来根。
1993年	5年2月7日 4月22～26日	・北方領土の日啓発無線通信事業開催。 ・北方四島からビザなし交流団第1陣46人が来道。(今年度、全8陣で406人が来道)		8月13～18日	・北方領土返還要求現地根室大会並びに根室市民のつどい開催。(50年大会・市中パレード実施)
	5月14～16日	・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第1陣47人が国後島、色丹島、択捉島を訪問。今年度、全9陣で418人渡航)		8月22～25日	・第18回北方領土墓参実施。 (第1班、択捉島別飛、留別、国後島近布内、植沖を墓参)
	8月22～25日	・第16回北方領土墓参実施。 (第1班、志発島西浦泊を墓参) (第2班、国後島泊を墓参)		8月26～29日	・(第2班、国後島東佛、乳呑路を墓参) ・(第3班、多楽島フルベツ、色丹島相見岬を墓参)
	9月3～7日	・(第3班、択捉島留別、別飛、色丹島アナマを墓参)		9月8日	・ロシア連邦院国際問題委員会一行(7名)が来根、北方領土を視察。
	9月8～9日	・(第4班、国後島植内、ニキシロを墓参) (第5班、水晶島秋味場を墓参)		9月10日	・北方四島物故者追悼50周年祭開催。
	10月8日	・北方領土返還要求署名運動6千万人達成。		10月5日	・平成6年10月の北海道東方沖地震による人道支援の一環として色丹島に建設中の仮設診療所が完成。
	10月11日	・エリツィン大統領来日。		8年1月22日	・ロシア北方四島行政関係者6人がビザなし訪問。(花咲港に入港)
	10月12日	・「東京宣言」「経済宣言」に日口首脳が調印、北方領土問題については交渉対象として四島の名前が明記された。		3月25日	・根室市が元島民の手記による北方領土50年史を発刊。
	11月26日	・カレイ刺し網漁船第68 由貴丸の能登敬一船長が、納沙布岬で国境警備隊による銃撃を受け左足を負傷、捕される。		4月3日	・北方水域操業自粛ラインが1977(昭和52年)の2百カイリ暫定措置法の施行に伴う旧ラインの設定以来19年ぶりに改定される。
1994年	6年1月9日 1月26～27日	・ロシア北方四島行政関係者7人がビザなし訪問。(花咲港に入港) ・北千島、セベロクリリスク市の代表団来根、根室市との姉妹都市提携に調印。	1996年		

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事	
1996 年	平成 8 年 4 月 18 ～ 23 日 5 月 25～ 27 日	・北方四島からビザなし交流団第 1 陣 69 人が来道。(今年度、全 6 陣で 413 人が来道) ・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第 1 陣 48 人が訪問。今年度、全 9 陣で 422 人渡航)	1997 年 1998 年 1999 年	平成 9 年 12 月 15 日	・北方四島人道支援の一環として建造中の自航式はしけ「希望丸」(80 トン)が完成。(引渡式は 2 月 2 日)	
	6 月 21 日	・「北方地域旧漁業者等に対する特別措置に関する法律の一部を改定する法律案」が通常国会で可決され、これにより元島民と旧漁業者に限られていた北対協資金の融資資格が、一定の要件を満たして生前継承の手続きをとることによって、子供や孫にも適用されるようになる。(10 月 1 日施行)		12 月 30 日	・北方四島周辺海域での日本漁船操業枠組み交渉第 13 回協議が妥結し、協定文書の合意内容を確認する覚書に日ロ両国代表が調印。	
	7 月 23 日	・チゾフ駐日ロシア大使が来根、北方領土を視察(駐日大使の来根は 33 年ぶり)		10 年 1 月 22 日	・平成 9 年 11 月のクラスノヤルスク合意を受けた初の日ロ外務次官級協議がモスクワで開催、両国外相を委員長とする「平和条約締結問題日ロ合同委員会」を設置することで合意、また、ロシア側は北方四島の共同経済活動を提案。	
	8 月 20 日	・日本の人道支援の一環として色丹島アナマに建設中の小学校が完成。		2 月 7 日	・北対協及び根室市、北方領土啓発ホームページを開設。 (http://www.hoppou.go.jp)	
	8 月 25 日～ 9 月 1 日	・第 18 回北方領土墓参実施。 (第 1 班、国後島古蓋布植園を墓参) (第 2 班、択捉島内保、紗那を墓参) (第 3 班、志弼島カフェノツ、色丹島稲茂尻を墓参) (第 4 班、国後島古丹消、勇留島トコマを墓参)		2 月 21 日	・小淵外相訪ロ、モスクワで北方領土周辺水域における日本漁船の安全操業協定に調印。	
	8 月 28 日	・根室市内の漁船(第 52 多喜丸、第 28 昭久丸)が操業中に銃撃を受け、船長が負傷する。		4 月 1 日	・根室市、構造改革で北方領土対策室を新設。	
	10 月 1 日	・「北方地域旧漁業者等に対する特別措置に関する法律の一部を改正する法律」施行。		4 月 17 日	・政府、北方領土へのビザなし渡航者を制限していた 1991 年 10 月の閣議了解を変更し、従来の渡航対象者に加え「学術・文化・社会等の各分野の専門家」も対象とする事を決定。	
	10 月 12 日	・根室市内のサンマ漁船がロシア国境警備隊の臨検を受け、乗組員 5 名が逮捕される。根室海峡における日本漁船の逮捕は 1994 年 10 月 4 日以来。(平成 6 年)		4 月 18～ 19 日	・静岡県・川奈で日ロ非公式首脳会談開催。日ロ平和条約について「東京宣言に基づき、北方四島の帰属問題の解消を内容とし、21 世紀に向けての日ロ友好協力の原則を盛り込んだものとなるべき」との考えで一致。	
	1997 年	9 年 3 月 6 日		・エリツィン・ロシア大統領が年次教書を発表し、北方領土の日ロ共同開発を含むあらゆる面で日本との協力を進める用意があることを表明。	4 月 24 日	・「北方領土登記訴訟」の原告で元島民(水島島出身) 舩海喜一郎氏が死去、94 歳。
		3 月 25 日		・歯舞群島・水島島にある所有地の登記内容変更を法務局に却下された根室市の元島民舩海喜一郎氏が却下取消を求めた「北方領土登記変更訴訟(舩海訴訟)」の判決で、釧路地裁は「北方領土内の土地は登記の対象であり、登記官が現地調査できなくても権利変動の登記を受け付けることができる」として、法務局側に却下取消を命じる(法務局側はこの判決を不服として 4 月 7 日に札幌高裁に控訴、現在も係争中)	5 月 15～ 20 日	・北方四島からビザなし交流団第 1 陣が来日。(今年度、全 9 陣、内道内 6 陣)
		4 月 24 日		・ブルブリス・ロシア国会議員が来根、北方領土を視察。	5 月 17～ 20 日	・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第 1 陣が訪問。今年度、全 12 陣)
		4 月 23～ 28 日		・北方四島からビザなし交流団第 1 陣が来道。(今年度全 8 陣)	6 月 4～ 8 日	・第一回北方四島墓地現地調査(国後島)
5 月 19～ 23 日		・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第 1 陣が訪問。今年度、全 11 陣)	6 月 18～ 22 日	・第二回北方四島墓地現地調査(色丹、多楽、秋勇留島)		
5 月 19～ 23 日 6 月 6～ 7 日		・堀達也北海道知事が北方領土を訪問。	6 月 23 日	・政府人道支援による国後島・古蓋布桝橋改修の目録贈呈として初めて国後・択捉島を訪問。		
6 月 25 日		・「日ロ友好と北方領土」討論会出席のため、アレクサンドル・パノフ駐日ロシア大使と孫崎享北海道担当特命全權大使が来根。	6 月 26 日	・歯舞群島・水島島沖で歯舞漁業所屬のサケ・マ流し網漁船(乗組員 8 名)がロシア国境警備隊に逮捕される(7 月 1 日釈放され、帰港)		
8 月 25～ 28 日		・納沙布岬沖合の日ロ中間ライン付近で操業中のカレイ刺し網漁船・第 63 栄幸丸がロシア国境警備隊の銃撃を受け、乗組員 2 名が負傷。	6 月 29 日 7 月 10 日	・東郷和彦外務省総括審議官が来根。 ・歯舞群島・水島島沖のロシア主張領海内で根室のサンマ捕受け漁船(乗組員 1 名)がロシア国境警備隊に逮捕される(7 月 13 日釈放)		
8 月 27 日		・第 19 回北方領土墓参実施。 (第 1 班、択捉島年輪・別飛) (第 2 班、色丹島ノト口、志弼島西浦泊)	7 月 21 日	・北海道に事業、北方四島交流施設が市内穂香で着工される。		
8 月 30 日～ 9 月 1 日		・日本側ビザなし訪問団が根室港を出港、今後は日本側訪問団に限り根室港からの出入港が認められる。	7 月 27 日	・「北方領土登記訴訟」の原告の舩海喜一郎氏が 4 月に死去したことに伴い、原告弁護団が長男の訴訟継続を札幌高裁に申し立てる。		
9 月 30 日		・第 19 回北方領土墓参実施。 (第 3 班、国後島泊) (第 4 班、国後島東沸、水島島茂尻消・秋味場)	10 年 8 月 4 日	・ビザなし渡航による日ロ双方の訪問者数が、平成 4 年 4 月の実施以来 5 千人を突破する。		
11 月 1～ 2 日		・丹波実外務省審議官が第 6 回ビザなし訪問団に同行、外務省高官の北方領土訪問は初めて。	8 月 17～ 31 日 8 月 17～ 20 日	・第 21 回北方領土墓参実施。 (第 1 班、択捉島留別・葉取) (第 2 班、色丹島アナマ、志弼島カフェノツ、多楽島フルベツ) (第 3 班、国後島礼文磯、白糠泊)		
11 月 13 日	・ロシアのクラスノヤルスクで日ロ非公式首脳会談が行われ、「1993 年の東京宣言に基づき 2000 年までに平和条約を締結するよう全力を尽くす」ことで合意。	8 月 27～ 31 日 10 月 3 日	・政府、ビザなし交流で 99 年度から教員、地質学者を派遣し、専門家交流を大幅に拡大する方針を決定。			
12 月 15 日	・ロシアのクラスノヤルスクで日ロ非公式首脳会談が行われ、「1993 年の東京宣言に基づき 2000 年までに平和条約を締結するよう全力を尽くす」ことで合意。	11 月 11～ 13 日	・小淵首相ロシアを公式訪問、エリツィン大統領と会談し、国境確定委員会及び共同経済活動委員会の設置、元島民の北方四島への自由往来などで合意。また、両首脳は「モスクワ宣言」に署名し、クラスノヤルスク及び川奈合意に基づき「2000 年までの日ロ平和条約締結に全力を尽くすとの決意」が日ロ間の公式文書で初めて確認される。			
			11 年 1 月 18 日	・根室と国後島間に設定されていた通信用「改定ケーブル」の一部引き揚げられた。		
			5 月 4 日 5 月 21～ 24 日	・太田誠一総務長官は北方領土視察。 ・北方四島、日本側ビザなし渡航実施。(日本からの第 1 陣が訪問。今年度、全 16 陣)		

西 暦	年 号	主 な 出 来 事	西 暦	年 号	主 な 出 来 事	
1999年	平成 11年 5月 26日	・ 藤原市長「ビザなし交流訪問団团长」としてビザなし交流に初参加。	2001年	平成 13年 7月 1日	・ 北方領土啓発施設「北方館」の入館者が1千万人を達成。	
	6月 3～8日	・ 北方四島からビザなし交流団第1陣が来日。(今年度全8陣、うち来道5陣)		8月 1日	・ 尾身沖縄・北方対策担当大臣が北方領土を視察する。	
	6月 9～15日	・ 第1班北方四島墓地現地調査(国後島、色丹島)		8月 21～22日	・ 第24回北方領土墓参実施。	
	6月 30日～7月 7日	・ 第2班北方四島墓地現地調査(択捉島)		8月 27～30日	(第1班 色丹島年萌、トカリス、わかっつ)	
	7月 29日	・ 「北方領土・国後島『爺爺岳』専門家交流訪問団」出港。		9月 1～3日	(第2班 色丹島相見崎、志務島かえつ)	
	8月 6日	・ 「択捉島ラッコ専門家交流訪問団」出港。		9月 5～7日	(第3班 国後島樺沖)	
	8月 25～28日	・ 第22回北方領土墓参実施。		8月 26日	(第4班 国後島アニ、オミ)	
	8月 30日～9月 1日	(第1班 択捉島紗那、フレシコタン)		9月 10日	・ 北方領土返還促進根室市民会議の設立総会が開かれる。	
	8月 30日～9月 2日	(第2班 色丹島キリトウシ、国後島父吾路)		9月 27日	・ 北方領土返還要求運動に尽力した「末次一郎氏を偲ぶ会」が納沙布岬の四島のかげ橋で行われる。	
	9月 11～12日	(第3班 国後ニキシロ、近布内)		10月 21日	・ 上海APEC首脳会議に際し、日口首脳会議が行われ、「双方が前提条件を付けずに歯舞・色丹の議論と国後・択捉の議論を同時かつ並行的に進めていく」との分離・並行協議で基本合意する。	
	10月 20日	(第4班 多楽島ヒラリウス、水晶島秋味場)		11月 27日	・ 「参議院沖縄及び北方領土問題に関する特別委員会」に藤原市長、嶋津議長、波多議員が出席し、北方領土未解決が及ぼす地域振興の阻害を訴え、特別交付税の省令改正など財政支援を要請する。	
	10月 24日	・ 北方領土返還要求全国キャラバンの東日本コースが根室役所前から出発する。		2002年	14年 1月 16日	・ 能代内閣府副大臣が北方領土を視察する。
	11月 1日	・ 国後島古蓋布に緊急避難所兼宿泊施設「日本人とロシア人の友好の家」が完成。現地にて完成式典が行われる。			5月 25日	・ 尾身沖縄・北方対策担当大臣が北方領土を視察する。
	12年 2月 7日	・ 道立北方四島交流センターがオープンする。			8月 23日	・ 外務大臣としては14年ぶりに川口外務大臣が北方領土を視察する。
	2月 20日	・ 道立北方四島交流センターがオープンする。			8月 27～30日	・ 第25回北方領土墓参実施。
	4月 21日	・ 北方領土フォーラム「新世紀を超える北方四島の将来」が北方四島交流センターで開催。			9月 1～3日	(第1班 台風のため中止)
	5月 12日	・ 根室市南沖の日本200海里内で宮城県漁船がロシア警備隊に銃撃され、逮捕される。			9月 5～7日	(第2班 色丹島ノトク、勇留島トコマ)
	5月 24日	・ 統訓弘総務庁長官が北方領土を視察。			9月 20日	(第3班 国後島泊)
	5月 24日	・ 「国後シマフクロウ専門家交流訪問団」(日本側)が国後島でシマフクロウの生態調査をおこなう。			9月 20日	(第4班 国後島中ノ古丹、オノツクリ)
5月 28日	・ 羅臼町のタラ漁船が択捉島西側でロシア国境警備隊に逮捕される。	2003年	1月 14日		・ 北方四島交流センターの入館者数が10万人を達成。	
6月 18日	・ 「北方四島・海獣類と鳥類専門家交流訪問団」が来日する。		3月 25日		・ 参院・沖縄及び北方領土に関する特別委員会一行が歩法領土を視察する。	
8月 9日	・ 「北方四島・海獣類と鳥類専門家交流訪問団」が来日する。		5月 11日		・ 北方領土返還・四島交流促進議員連盟が発足する。	
8月 23日	・ 第23回北方領土墓参実施。		6月 20日		・ 根室ロシアフェスティバル2003が北方四島交流センターで開催される。	
8月 24日	(第1班、国後島古丹消、ハツチャス)		7月 4日		・ 内閣法制局の山崎参事官が北方領土を視察する。	
9月 3日	(第2班、国後、択捉、濃霧で上陸断念、船上で慰霊祭を行う)		7月 29日～8月 1日		・ 北方四島自由訪問で戦後初めて国後島の漱石を訪問する。	
9月 14日	(第3班、択捉入里節、グヤ、国後植内)		8月 4～6日		・ 第26回北方領土墓参実施。	
10月 1日	(第4班、色丹稲茂尻、秋勇留オタモイ、志務西浦泊)		8月 23日		(第1班 択捉島別飛、ベケンリタ、オダイベケ)	
11月 15日	・ 森田一運輸大臣、北海道開発庁長官が北方領土を視察。		8月 26～28日		(第2班 国後島植内)	
11月 27日	・ 羽田孜幹民民主党幹事長がビザなし交流に首相経験者として初めて参加。		8月 30日～9月 2日		・ 高橋はるみ北海道知事が北方領土を視察する。	
13年 2月 17日	・ ブーチン・ロシア大統領が来日。日口首脳会議が開かれる。領土問題解決による日口平和条約の締結について交渉継続とした共同声明を発表。		8月 31日		・ 第26回北方領土墓参実施	
3月 25日	・ 統訓弘総務庁長官がビザなし交流に参加。		9月 18日	(第3班 国後島礼文磯、乳呑路)		
4月 7日	・ 「北方四島返還要求国民集会 in NEMURO」が納沙布岬の望郷の岬公園で行われる。		11月 22日	(第4班 色丹島アナマ、歯舞群島水晶島秋味場)		
4月 14日	・ 「衆議院の沖縄及び北方問題に関する特別委員会」に藤原根室市長ら3人が意見陳述。		12月 15日	・ 細田博之沖縄及び北方対策担当大臣がビザなし交流に参加。国後島を訪問する。		
5月 17日	・ 全国の北方領土返還要求運動都道府県民会議、北方領土元居住者らを対象にした「北方領土返還要求運動関係者特別集会」が北方四島交流センターで開催される。		12月 20日	・ 市立根室病院で北方四島人道支援択捉患者を受け入れる。		
6月 2日	・ 橋本沖縄・北方対策大臣が北方領土を視察する。			・ 千島歯舞諸島居住者連盟根室管内青年部連絡協議会が設立される。		
	3月 25日		・ 森首相とブーチン・ロシア大統領による日口首脳会議がロシア・イルクーツク市で行われる。		・ 茂木敏充沖縄及び北方対策担当大臣が北方領土を視察する。	
	4月 7日		・ 森首相が北方領土を視察。現職総理としての視察は20年ぶり。		・ 野村在ロシア特命全權大使が北方領土を視察する。	
	4月 14日		・ 千島歯舞諸島居住者連盟根室支部青年部の設立総会が開かれる。			
	5月 17日	・ ビザなし交流の新規事業「日本語習得研修」に参加するため北方四島在住ロシア人10人が来根。				
	6月 2日	・ 北方四島への人道支援の一環として、日本政府が色丹島へ供給する自航式はしけ「友好丸」が完成し、進水式が行われる。				